

各 部 局 長 様

副 区 長 齊 藤 雅 人

令和2年度予算編成について（依命通達）

令和2年度予算は、まちづくり記念事業を含む「東アジア文化都市」のレガシーを活かし、未来の世代に向けて「としま新時代」の確かな道筋を創り上げる予算である。また、来年度は令和3年度から始まる後期・基本計画の策定に向けて、区の今後の方向性を定める重要な年度でもある。

こうした中、本区の歳入は、二大財源である特別区税及び財政調整交付金は堅調に推移しつつあるものの、ふるさと納税制度、法人住民税の一部国税化、さらには地方消費税交付金の清算基準の見直しにより、平成30年度決算では約46億円もの貴重な財源が失われ、令和元年度はさらに減収額が拡大する見込みである。今後、国が進める税源偏在是正の動きが区財政に深刻な影響を与えることが危惧され、歳入環境は予断を許す状況にない。

一方、歳出においては、23のまちづくり記念事業を着実に進め、「国際アート・カルチャー都市」実現へと、スピード感を持って取り組む必要がある。加えて、待機児童対策や児童相談所開設準備をはじめとする子育て関連施策、また本年3月に策定した「高齢社会に向けたとしま総合戦略」の推進など行政需要は山積しており、今後も社会保障費は高い水準で推移することが見込まれる。

こうした状況下で、本区は、今後、民間の発想やAI等先端技術の活用を進めるとともに、創意工夫を凝らして一層効率的な業務運営を徹底するなど、不断の改革を強力に進めることで、強固で弾力的な財政基盤を創り上げるとともに、直面する地域課題の解決とさらなる成長を生み出す施策展開に積極果敢に取り組む必要がある。

については、各部局は、予算の作成にあたり、漫然と前例踏襲に陥ることなく、知恵を絞り、事業の一つひとつについて改善・見直しを行い、事業の積極的なスクラップや新陳代謝に取り組まれない。枠内予算については、別に示す「枠配分額」を厳守し、枠外予算についても、内容・積算根拠を十分に精査し、施策の効率性や実効性の向上につながる予算編成に尽力されたい。

作成に当たっては、各部長の指揮のもと、部局内はもちろんのこと、企画・財政担当とも十分に調整を図りつつ、下記に掲げる事項及び別途示される事務処理方針に従い、別に定める期日までに予算案の作成に当たられたい。

この旨、命によって通達する。本通達は、速やかに貴部局職員へ周知し、その趣旨の徹底を図られたい。

記

1. 一般的事項について

- (1) 各部局の予算額は、枠配分された一般財源と各部局で見込んだ特定財源の合算額並びに一件算定された枠外経費の合算額とする。
- (2) 歳入の見積りにあたっては、財源を正確に捕捉し、確実かつ厳正に収入の確保を図ること。既存の特定財源のみにとらわれることなく、国及び都における予算編成等の動向に十分留意し、歳入に遺漏のないよう見積もること。
- (3) 特別区民税及び国民健康保険料については、引き続きあらゆる手立てを講じ、徴税（徴収）努力をほらい、収納率の向上を図ること。
また、未回収となっている債権等についても、「豊島区の私債権等の管理に関する条例」に基づく「豊島区債権管理方針」により、その回収に努めること。
- (4) 令和2年度から導入される会計年度任用職員に係る経費（報酬、職員手当等、共済費、通勤に係る費用弁償）は枠外経費とし、人事課一括計上とする。

2. 枠内経費について

- (1) 各部局の枠配分額は別紙のとおりである。各部局は、配分された「枠配分額」を上限として枠内予算を作成すること。枠配分額に収まらない部局については、一つひとつの事業について、これ以上削減できない理由を添えて、副区長、区長査定を受けるものとする。
- (2) 部局予算案の作成にあたっては、区議会の審議状況や区民要望を十分に踏まえるとともに、事業の効率性、有効性に十分配慮し、「最少の経費で最大の効果」が上げられるよう知恵を絞り、創意・工夫すること。
- (3) 各事業予算の計上にあたっては、前例踏襲に陥ることなく、行政評価の結果を踏まえるとともに、執行方法の改善や積算の見直し、真に必要な経費か否か、改めて精査を行うこと。

3. 枠外経費について

- (1) 令和2年度予算編成における「枠外経費」は以下のものとする。
 - ① 人件費（職員関係経費、会計年度任用職員に係る報酬等、その他）
 - ② 投資的経費（大規模改修を含む）
 - ③ 施設改修経費
 - ④ 情報化推進経費
 - ⑤ 特別会計繰出金

- ⑥ 政策的経費
- ⑦ 区民活動補助金
- ⑧ その他（指定管理料、清掃一部事務組合分担金、予備費等）

(2) 上記枠外経費については、財政課が一件査定を実施し、決定後、各部局に通知する。なお、金額が元年度予算額から大きく増加している事業については、副区長、区長査定を実施する。

令和2年度当初予算・部局別枠配分額

(千円)

部 局 名	枠 配 分 額	備考
政 策 経 営 部	4,608,000	
総 務 部 (防災危機管理課除く)	502,000	
総 務 部 防 災 危 機 管 理 課	360,000	
区 民 部	866,000	振替特財額 充当前
文 化 商 工 部	1,182,000	
環 境 清 掃 部	1,147,000	
保 健 福 祉 部	8,145,000	
子 ど も 家 庭 部	7,790,000	
都 市 整 備 部 (土木担当部長除く)	610,000	
都 市 整 備 部 土 木 担 当 部 長	537,000	
会 計 管 理 室	33,500	
教育委員会事務局・教育部	1,612,000	
選挙管理委員会事務局	15,000	
監 査 委 員 事 務 局	11,300	
区 議 会 事 務 局	452,600	
計	27,871,400	

部局枠配分額の積算について

- 1 収支見通し調査における財政課査定額及びスクラップ額を反映
- 2 今回から都市整備部を土木担当部長とそれ以外に分けて枠配を実施